

平成26年12月26日

お知らせ

同時資料提供先: 合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、
広島市市政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

可部バイパス部分開通後の利用状況と整備効果について

今年2月8日に開通しました、可部バイパスの開通後の利用状況に加え、周辺の学校などからヒアリング調査を実施しましたのでお知らせします。

① 可部バイパスの利用状況

- ◆可部バイパス（今回開通区間）：約9,800台/日（平成26年7月29日（火）調査）
- ◆国道54号の開通前後の利用交通量（今回開通区間の並行区間）：
（開通前）約17,700台/日 → （開通後）約10,400台/日
（平成25年10月10日（木）調査） （平成26年7月29日（火）調査）
- ◆国道54号現道を含めた断面全体の約5割の交通が可部バイパスを利用しています。
- ◆中島交差点なかしまの改良により、可部バイパスへ直進できるようになり可部バイパスの交通量が開通1ヶ月後より約900～1,300台/日増加しています。

② 整備効果

- ◆主要渋滞箇所である桐陽台団地入口交差点とうようだいとガラの里前交差点の渋滞が解消しました。一方、可部バイパスの安佐北区民文化センター入口交差点などでは依然として渋滞が発生しています。
- ◆可部地域の生活道路を利用する交通が排除され、通学児童をはじめとした地域住民の安心・安全が向上しました。

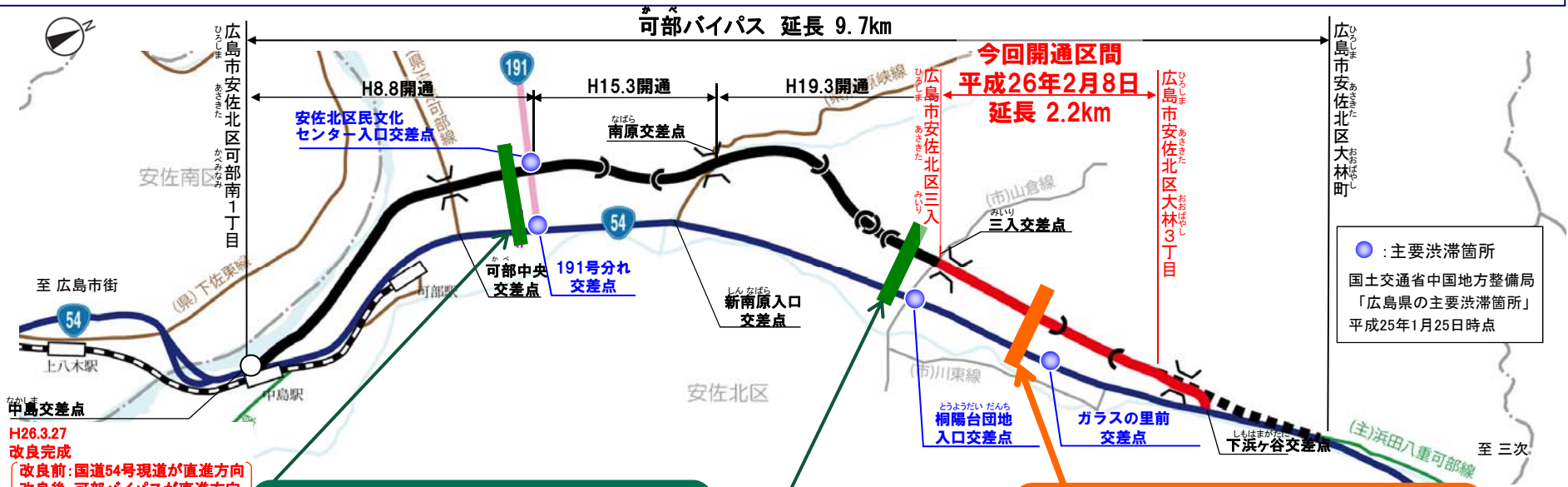
※今後も引き続き調査を行い、道路整備効果を検証していきます。

《問合せ先》

・国土交通省 中国地方整備局 広島国道事務所 TEL(082)281-4131 FAX(082)286-7897
副所長 井上 和久 (いのうえ かずひさ)
【担当】計画課長 梅林 幾彦 (うめばやし いくひこ)
ひろこくホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/index.html>

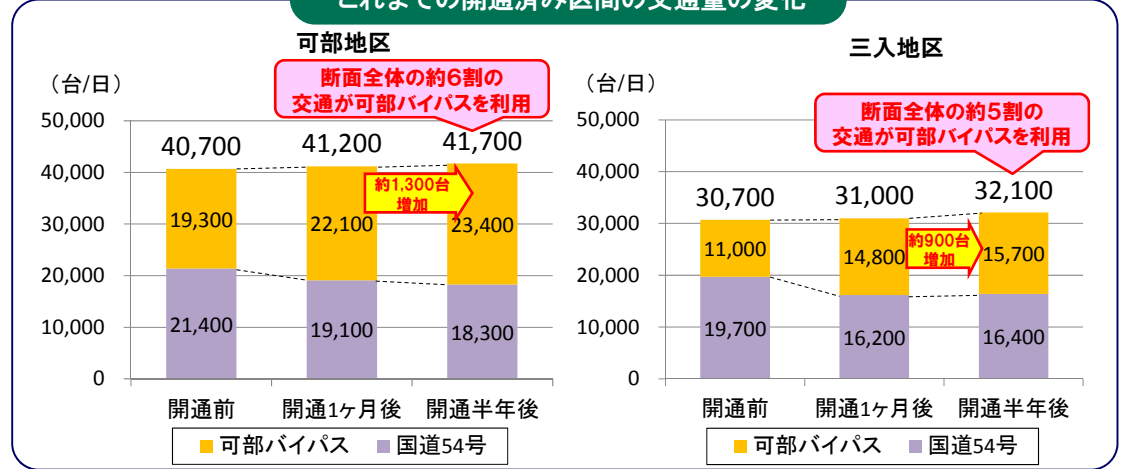
利用状況① 可部バイパス開通後の利用交通量について

- ・今回開通区間の開通6ヶ月後の利用交通量は約9,800台/日で、国道54号現道を含めた断面全体の約5割の交通が可部バイパスを利用しています。
- ・平成26年3月の中島交差点の改良で可部バイパスへ直進出来るようになったことなどにより、可部バイパスの交通量が開通1ヶ月後より約900~1,300台/日増加しています。

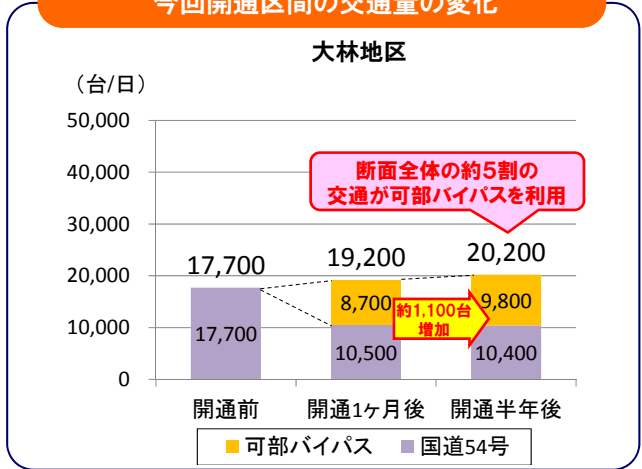


H26.3.27 改良完成
改良前: 国道54号現道が直進方向
改良後: 可部バイパスが直進方向

これまでの開通済み区間の交通量の変化



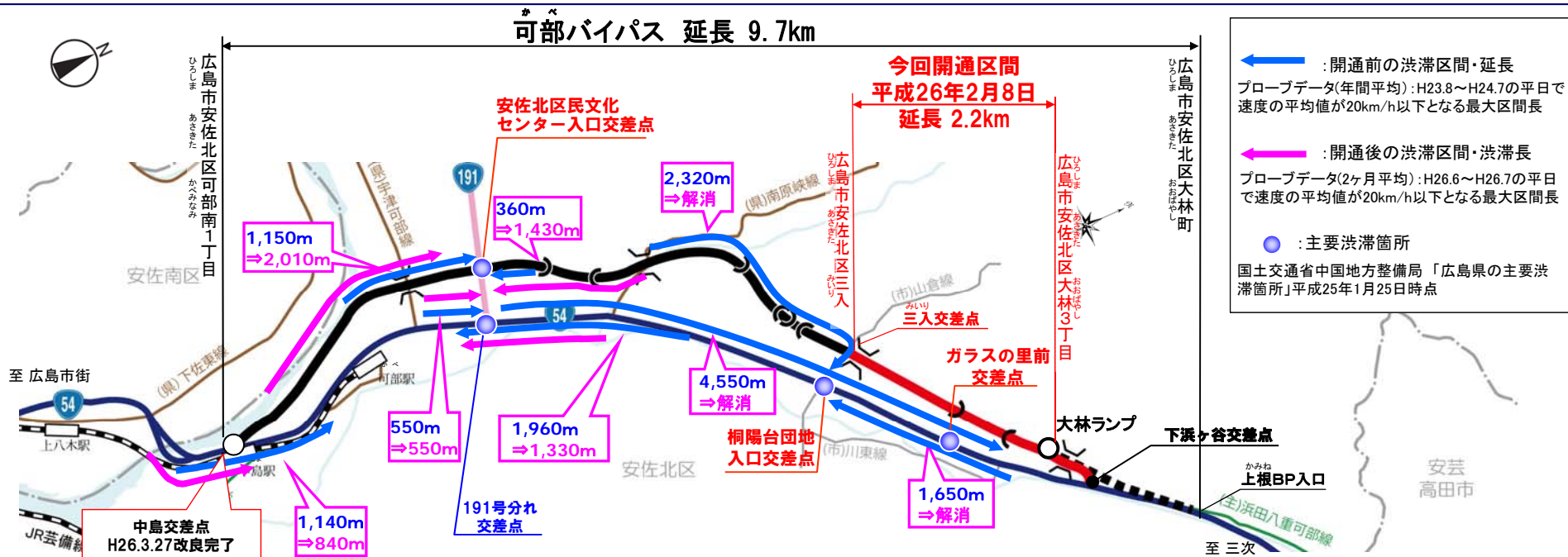
今回開通区間の交通量の変化



開通前: H25.10.10(木)交通量調査結果
開通1ヶ月後: H26.5.13(火)交通量調査結果
開通半年後: H26.7.29(火)交通量調査結果

整備効果① 可部バイパス開通後の交通混雑の解消・緩和について

- ・国道54号から可部バイパスに交通が転換することにより、主要渋滞箇所である桐陽台団地入口交差点とガラスの里前交差点の**交通混雑が解消**されました。
- ・一方、可部バイパスでは、安佐北区民文化センター入口交差点を先頭にした渋滞など課題が残っています。



道路利用者や周辺住民の声

・開通後は、国道54号現道の流れが良くなった。周辺住民からも、流れが良くなったと実感している声が挙がっている。



・救急搬送後に渋滞に巻き込まれることにより連続して救急出動が必要となった場合は大幅な時間ロスが生じていたが、開通後は渋滞に巻き込まれたことはなく、スムーズな移動が可能となった。
・可部バイパス走行時は走行スピードが平準化され、運転ストレスが軽減された。



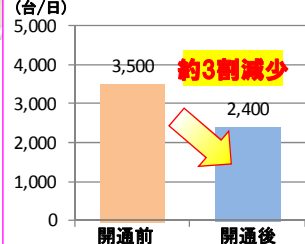
整備効果② 生活環境の安心・安全の向上

- これまで国道54号の混雑を避け生活道路内を通過していた交通が、今回の開通により**約3割減少**しました。
- このことにより、可部地域の生活道路を利用する通過交通を排除し、通学児童をはじめとした地域住民の生活における**安心・安全が向上**しました。

通過交通による通学児童への危険箇所(大林小学校周辺)



●生活道路の交通量の変化



※開通前はH25.10.10(木)交通量調査結果
開通後はH26.7.29(火)交通量調査結果



■ガラスの里裏の生活道路
・マンションで視界が遮られて、通過交通との接触が危険



■大林神社付近の生活道路
・幅員が狭い雨天時の接触事故の発生箇所(用水路への転落等)

- 生活道路の通学路で、雨天時に通過車両と通学児童や生徒の傘が接触する危険箇所があり、脇の用水路に中学生が転落した事例も発生した。
- 可部バイパス開通後は、ガラスの里裏や大林神社付近の生活道路の通過交通が減少し、事故の危険性が緩和された。



大林小学校
校長の声

資料：広島国道事務所
ヒアリング調査結果

撮影日：平成26年5月